

NSW

Humanware By Systemware

第57期

株 主 通 信

NSW 株式会社

〈証券コード:9739〉

Top Message

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

第57期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス禍からの社会・経済活動の正常化に伴い、外食やインバウンド消費の回復を中心に、影響の大きかった企業の業績改善など明るい材料もみられた一方、混迷するウクライナ情勢や欧米の銀行破綻に伴う信用不安、円安リスクを孕む為替相場、世界的なインフレ圧力など、景気減速が懸念される不透明な環境が続いております。

情報サービス産業においては、デジタルトランスフォーメーション（DX、デジタル変革）関連の投資や、グリーントランスフォーメーション（GX）への取り組みなど、需要は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、オートモーティブ分野や通信・設備機器分野およびクラウド関連ビジネスが好調なほか、半導体設計・開発も堅調に推移した結果、売上高は461億88百万円、営業利益は53億87百万円と、11期連続で増収・増益を達成いたしました。

期末配当は5円増額し、これにより当期の年間配当金は、1株あたり55円（中間配当金25円、期末配当金30円）となりました。

当社グループは、「デジタル変革による社会と企業の持続的成長の両立～技術と知によりお客様とビジネスを共創するSlerへの進化～」を基本方針に、引き続きお客様の企業変革とともに推進するパートナーとして、皆さまのご期待にお応えできるよう邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

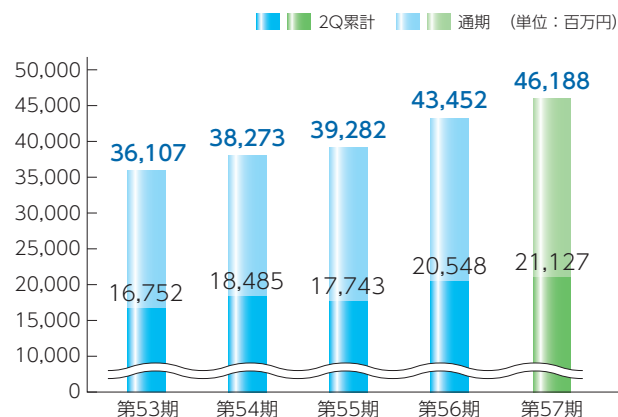


代表取締役執行役員社長
多田 尚二

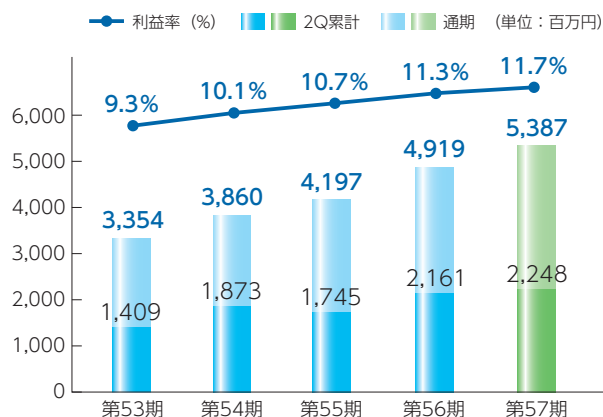
Financial Highlights

連結業績ハイライト

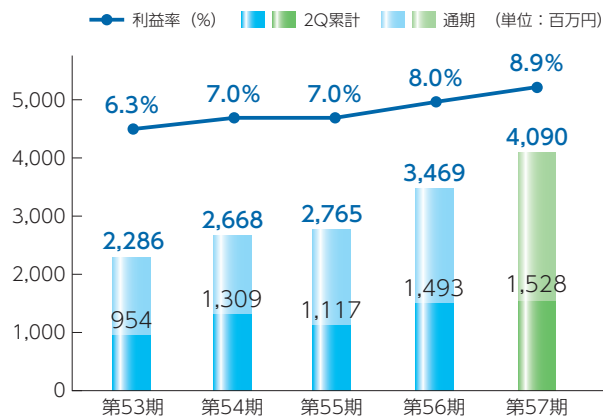
■ 売上高 **461億88百万円**



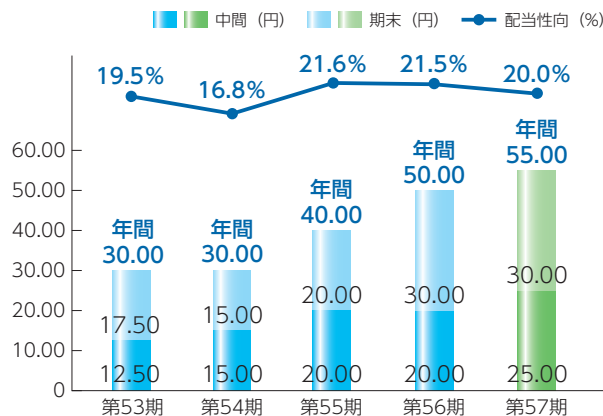
■ 営業利益 **53億87百万円**



■ 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 **40億90百万円**



■ 1株配当金と配当性向(期末) **1株配当金 30円**



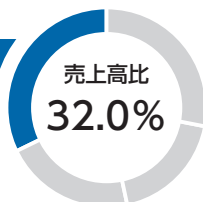
Business Segment Overview

連結セグメント別概況

エンタープライズソリューション

売上高 147億77百万円

営業利益 20億99百万円



売上高 (百万円)

営業利益 (百万円)

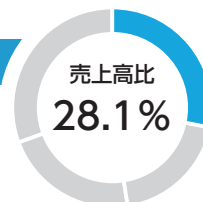


売上高につきましては、小売業向けや官公庁・団体向けのシステム開発が堅調に推移したものの、システム機器販売の減少により若干の減収となりました。利益につきましては、収益性の高い案件の貢献により増益となりました。これらの結果、受注高は16,188百万円（前年同期比18.2%増）、売上高は14,777百万円（同0.8%減）、営業利益は2,099百万円（同6.7%増）となりました。

サービスソリューション

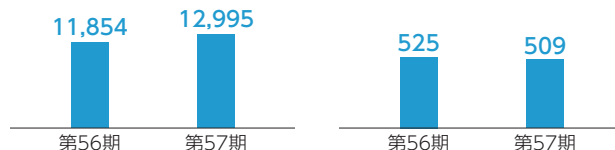
売上高 129億95百万円

営業利益 5億9百万円



売上高 (百万円)

営業利益 (百万円)

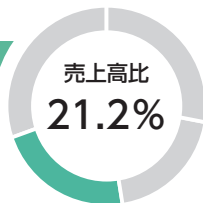


売上高につきましては、デジタルソリューション、クラウド・インフラサービスともに堅調に推移し増収となりました。利益につきましては、一部の低採算案件の影響や事業拡大に向けた体制強化および戦略的投資により減益となりました。これらの結果、受注高は13,806百万円（前年同期比11.5%増）、売上高は12,995百万円（同9.6%増）、営業利益は509百万円（同3.1%減）となりました。

エンベデッドソリューション

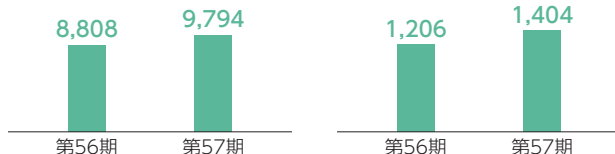
売上高 97億94百万円

営業利益 14億4百万円



売上高 (百万円)

営業利益 (百万円)

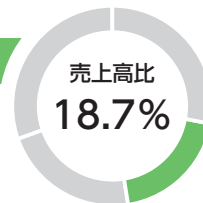


売上高につきましては、オートモーティブ・モビリティ分野、通信・設備機器分野を中心に好調に推移し増収となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により増益となりました。これらの結果、受注高は9,759百万円（前年同期比6.5%増）、売上高は9,794百万円（同11.2%増）、営業利益は1,404百万円（同16.4%増）となりました。

デバイスソリューション

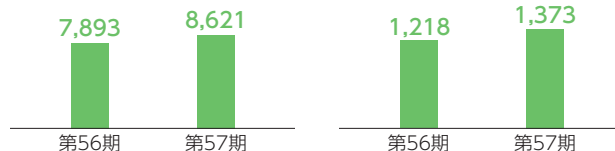
売上高 86億21百万円

営業利益 13億73百万円



売上高 (百万円)

営業利益 (百万円)



売上高につきましては、半導体設計・開発分野が堅調に推移し増収となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により増益となりました。これらの結果、受注高は9,026百万円（前年同期比13.8%増）、売上高は8,621百万円（同9.2%増）、営業利益は1,373百万円（同12.8%増）となりました。

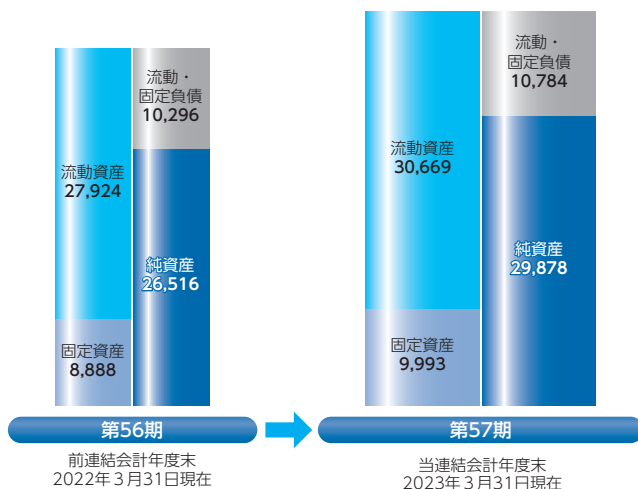
※当期より、事業セグメントの区分を変更しております。各事業セグメントの前期の数値については変更後のセグメント区分に組み替えた数字を表示しております。

Financial Statements

連結財務概況

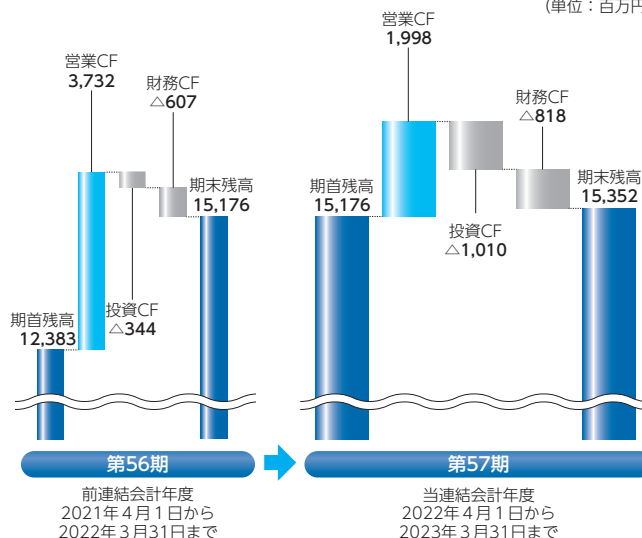
■ 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



■ 決算数値のPOINT

1. 資産について

総資産は、40,663百万円となり、前連結会計年度末比3,850百万円の増加となりました。これは主に、売掛金、商品、投資その他の資産の「その他」に含まれる敷金・保証金、繰延税金資産、現金及び預金、建物及び構築物の増加があったことによるものであります。

2. 負債について

総負債は、10,784百万円となり、前連結会計年度末比487百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等の減少、未払消費税等の減少があったものの、買掛金、流動負債の「その他」に含まれる未払金及び未払費用の増加があったことによるものであります。

3. 純資産について

純資産は、29,878百万円となり、前連結会計年度末比3,362百万円の増加となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ1.5ポイント増加し、73.5%となりました。

4. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,998百万円（前年同期比1,734百万円の収入の減少）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益に対し、減価償却費、売上債権、棚卸資産、仕入債務の増加額があったことに加え、法人税等の支払額があったことによるものであります。

5. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1,010百万円（前年同期比666百万円の支出の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出、敷金及び保証金の差入による支出、長期前払費用の取得による支出によるものであります。

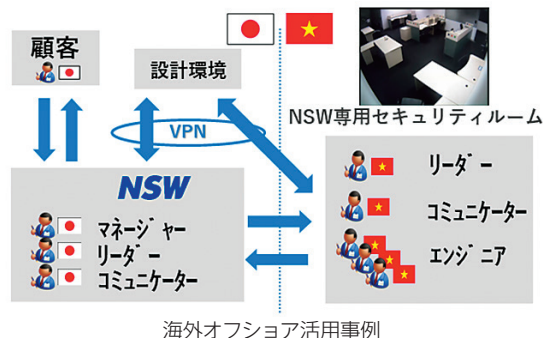
6. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、818百万円（前年同期比210百万円の支出の増加）となりました。これは、配当金の支払額によるものであります。

半導体事業の海外展開事例

当社の得意領域である半導体設計・開発分野は高い需要を維持する一方、半導体業界全体では技術者が不足しており育成と確保が課題となっています。当社では海外エンジニアを積極的に活用することで、人材を確保するとともに、海外での事業拡大にも取り組んでいます。

- ・ 東南アジアを中心とした海外のパートナー企業とともに、お客様ごとの開発環境を構築することで、対応力の強化に努めています。
- ・ 台湾の各種機関との協業により、海外企業へ当社のデザインサービス提供を行うことで、海外展開に向けたアプローチを進めています。
- ・ 当社の強みである半導体設計、組込み分野のノウハウをベースに海外企業との共創活動にも取り組んでいます。



変革共創企業としての取り組み

伴走型支援のロードマップ

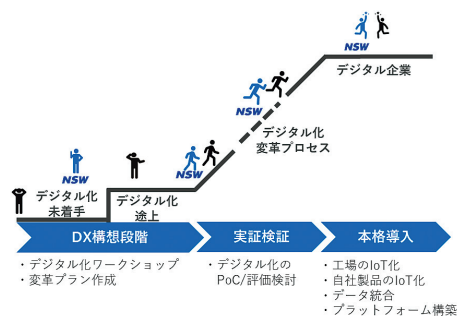
当社はおお客様のデジタル変革実現に向け、構想段階から現場の課題や経営課題に踏み込み、工場のIoT化や製品のIoT化、データ統合などの一連のプロセスをお客様とともに歩む伴走型の支援を行っています。

当社の技術・サービスを軸に、お客様やパートナー企業との共創によるデジタル変革を通じて、社会課題の解決や持続可能な社会の実現に向け、貢献してまいります。

お客様製品の変革事例～業務用ミシンのIoT化～

JUKI株式会社の裁縫工場向けミシン点検サポートシステム「ShuHaRi」に、IoTプラットフォーム「Toami」が採用されました。

型番を自動認識し点検作業項目と手順を表示するなど、点検保守サポート業務の効率化を実現します。また、点検結果をクラウドに蓄積することで、保守部品の手配や交換状況の把握が容易になり、ミシントラブルによる生産ライン停止の低減に貢献しています。



IoT Platform
Toami
Powered By ThingWorx



Corporate data

会社情報

会社の概況

(2023年3月31日現在)

商号	NSW 株式会社
設立	1966年(昭和41年)8月3日
本社	東京都渋谷区桜丘町31番11号
資本金	55億円
代表取締役	執行役員社長 多田 尚二
従業員数	2,371名(連結)
取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社山梨中央銀行
主たる関係会社	NSS株式会社 恩斯達信息技术(北京)有限公司(NSW China Co.,Ltd.) NSA株式会社
事業拠点	渋谷 山梨 名古屋 大阪 広島 福岡 北九州 台湾

役員構成

(2023年6月21日現在)

代表取締役 執行役員社長	多田 尚二	執行役員常務	我妻 誠
取締役 執行役員専務	阿部 徳之	執行役員常務	山田 武史
取締役 執行役員専務	須賀 讓	執行役員	山口 真吾
取締役 執行役員常務	竹村 大助	執行役員	岡部 晴美
取締役 監査等委員	佐野 滋	執行役員	上野 伸二
取締役 監査等委員(社外)	増井 正行	執行役員	福田 拓造
取締役 監査等委員(社外)	石井 尚子	執行役員	大島 幸司
取締役 監査等委員(社外)	山口 美幸	執行役員	市川 照明
		執行役員	森口 毅
		執行役員	長正 聡
		執行役員	佐藤 正芳
		執行役員	三塚 信也

株式の状況

(2023年3月31日現在)

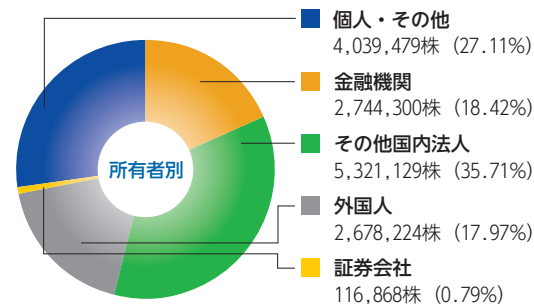
発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	14,900,000株
株主数	4,556名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株)タダ・コーポレーション	5,000	33.55
多田 修人	1,537	10.31
株)日本カストディ銀行(信託口)	1,046	7.02
日本マスタートラスト信託銀行株(信託口)	986	6.62
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FI/M/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	695	4.66
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	420	2.81
野村信託銀行株式会社(投信口)	384	2.58
多田 尚二	317	2.12
多田 直樹	300	2.01
光通信株式会社	292	1.96

※ 持株比率は自己株式(537株)を控除して計算しております。

株式分布状況(株式数構成比)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月下旬開催		
基準日	定時株主総会・期末配当	3月31日	
	中間配当	9月30日	
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社		
特別口座の管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号		
郵送物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号		
電話照会先	☎0120-782-031		
公告掲載URL	https://www.nsw.co.jp/ir/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)		

ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報をはじめとするさまざまな情報をタイムリーにお届けしております。ぜひご覧ください。



<https://www.nsw.co.jp/>

株式に関するお問い合わせ

- 配当金の受領方法・振込先の変更
- 届出住所・姓名などの変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

- 特別口座に関する照会
- 郵送物の発送と返戻に関する照会
- 支払期間経過後の配当金に関する照会
- その他株式事務に関する一般的な照会

三井住友信託銀行までお問い合わせください。

株式に関するQ&A



「配当金領収証」で配当金をお受け取りの株主さまへ

「銀行口座・証券口座での受取」をお勧めします。

口座での受け取りに変更すると…

- 手間なく、すぐに受け取れます。
支払開始日にご指定の口座に自動的に振り込まれます。
- 安心確実です。
「配当金領収証」の紛失や、受け取り忘れの心配がありません。

詳細は、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

UD FONT

